

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和7年度第2回加東市児童館運営委員会
開催日時	令和8年2月12日(木) 14時00分から15時20分まで
開催場所	社児童館「やしろこどものいえ」 多目的室
<p>議長の氏名 (委員長:森田 啓之)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】5人</p> <p>森田 啓之 委員長、大畑 賢志 副委員長、比護 佳那 委員、繁本 梨恵 委員 西村 敬子 委員</p> <p>【欠席委員】0人</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>無し</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>加東市教育委員会</p> <p>こども教育課 課長 出井 美穂 副課長 久米 陽介 主事 杉本 玲奈</p> <p>加東市児童館 館長 大江 みさ子 厚生員 長谷川 智子、久保田 致加、藤尾 純子</p>	
<p>○議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>1 議事</p> <p>(1) 委員長及び副委員長の選出について(資料①)</p> <p>(2) 令和7年度の加東市児童館の運営及び事業の中間報告について(資料②)</p> <p>(3) 加東市児童館の運営に関する評価について(資料③、④)</p>	

○会議の経過

1 開会

2 議事

(1) 委員長及び副委員長の選出について

《下記のとおり、委員長及び副委員長を選出》

委員長 森田 啓之 委員

副委員長 大畑 賢志 委員

《事務局から資料①報告資料に基づき説明》

承認を得ました。

(2) 令和7年度の加東市児童館の運営及び事業の中間報告について

《事務局から資料②に基づき説明》

(委員)

予算の削減はなぜ生じたのか。

(事務局)

予算については毎年度必要に応じて見直しを行っている。大幅な減少はしていない。

(委員)

事業数の減少を感じさせないくらい1つ1つの事業が充実しており、ありがたい。

(委員)

子どもだけでなく、親の学びの場もあり幅広い事業がありがたい。

(委員長)

引き続き事業の継続をお願いしたい。

(3) 加東市児童館の運営に関する評価について

《事務局から資料③に基づき説明》

(委員)

児童館はWi-Fiを利用できるのか。

(事務局)

Wi-Fiは使えないため、タブレットは利用できない。また、人と人のかかわりを楽しむ空間にしたいという思いから、携帯電話やゲームを利用しないというルールがある。

(委員)

Wi-Fi を使える空間は、学生が勉強しに集まる傾向にあると思う。

(委員長)

学生にとってはタブレット等を使える環境も必要なのかもしれないが、未就園児をとりまく保護者のかかわりを考慮するとバランスも考えないといけない。平日以外の事業で期待したい。

(委員)

緊急連絡先の把握にスマホアプリを活用することはできないか。また、部活動が地域展開した際に、クラブ活動では補いきれない文化的な活動等を希望する児童の居場所になれば、学生同士の繋がりもできて良いと思う。また、地域のネットワークが弱くなっているようにも感じる。SNS のトラブルは小学 1, 2 年生に一番多く、就学前の幼児の保護者に対し、学びの場を提供してもらおうとより良いと思う。

(委員長)

就学前も就学後も単なる SNS の制限ではなく、うまく付き合っていくことが大事だと思う。

《事務局から資料④に基づき説明》

(委員)

他市で勉強している高校生をよく見かける。勉強したい学生の勉強できる場が児童館になれば良いと思うが、高校生まだが児童館利用の対象であるということあまり知られていないように感じる。また、高校生が関心を持ちそうな講座等もあればいいかもしれない。

(委員)

子どもが小学生にあがると、園と比べて先生や保護者間で話す機会が減る。児童館職員と話ができるのはありがたい。

(委員)

過去に滝野児童館(きらら)でお世話になっていた。その頃と比べて事業が充実しているように感じる。また小中一貫校開設に伴い地域の繋がりも昔ほどではなくなっている。そういった中で、児童館が地域や親子のことを考えて取り組まれているのはありがたい。これからも続けてもらいたい。

(委員長)

部活動の地域展開における中学生の居場所は様々な意見がでている。身近な地域でクラブにこだわらず、無理のない範囲で事業があればいいと思う。

《事務局より次回の児童館運営委員会について連絡》

《事務局から児童館の現状について説明》

(社児童館「やしろこどものいえ」)

学校終わりに来館してくれる小学生が増加している。土日には他市町からも来ていただいている。外国人の利用者も増えており、保護者とのコミュニケーションの取り方に課題は残るが、継続して利用してもらえるように丁寧に対応していきたい。また、薪ストーブを焚いているが、利用者に喜んでもらっている。今年度から工作室を学習室として利用しており、引き続きおもちゃ等を含め環境を整えていく。

(滝野児童館 (きらら))

今年度は5月26日から7月22日まで空調工事のため休館していたが、リニューアル後は快適な環境が確保でき、昨年度に比べ来館者も増加している。父親や外国人の利用もあり喜ばしい。「電車であそぼう」という企画も好評でリピーターも多い。電車やレールのメンテナンスをしながら事業を続けていこうと思う。また、申請があれば、グループ室を学習室として夏休みに開放していたが、中学生からテスト期間に利用したいという声もあった。今後は長期休み以外も要望があれば対応していきたい。

(東条鯉こいランド)

夏休み期間は、週2回程度自習室を設けていた。来年度も同様に続けていく。小学生と乳幼児の親子と一緒に遊ぶ姿も見られるようになった。これまでは小学生高学年の利用が多かったが、低学年の利用も増えてきている。子どものみの来館のため、児童館利用のマナーを伝える難しさはあるが、1年生から児童館を遊び場の1つとして利用してもらえることは嬉しく思う。

3 閉会

○会議資料

- 資料① 加東市児童館運営委員会規則
- 資料② 令和7年度 加東市児童館事業の実施状況
- 資料③ 令和7年度 加東市児童館 自己評価 (集約)
- 資料④ 令和7年度 加東市児童館 関係者評価 (集約)

令和 8 年 2 月 28 日

委員長 森田啓之 